



「フロムアクア」が谷川連峰の自然を守る1本に

～JR東日本ウォータービジネス 『谷川連峰 水と緑のプロジェクト』～

- 株式会社JR東日本ウォータービジネス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田村 修）は、現在JR東日本のエキナカで発売中のミネラルウォーター「フロムアクア～谷川連峰の天然水～」の産地である谷川連峰の自然保護活動等の取組みとして『谷川連峰 水と緑のプロジェクト』を展開します。
- 具体的には、お客さまと一緒に自然を保護する取組みとして、「フロムアクア」を1本購入頂くと1円を谷川連峰の自然保護活動等に活用します。
- 自然保護活動等の取組みとしては、採水地である群馬県みなかみ町がまちづくり理念に基づき推進するエコツーリズムと本プロジェクトの取組み趣旨が合致したことから、みなかみ町のエコツーリズム推進を応援することを主たる取組みとします。
- また、首都圏の一部の駅構内acure自販機や列車内において、本プロジェクトの概要や自然あふれる谷川連峰の美しさを伝えます。

1. プロジェクト概要

- (1) 名称：谷川連峰 水と緑のプロジェクト
- (2) 展開期間：2011年9月1日（木）～10月31日（月）
- (3) 展開箇所：JR東日本エリアのキオスク、NEWDAY S acure自販機など
- (4) 対象商品：フロムアクア500ml、280ml
- (5) 内容：展開期間中に、対象商品1本お買い上げ毎に1円を谷川連峰の自然保護・水源保護活動、環境教育、地域の活性化等に活用します。



2. 自然保護活動等の概要

- 「フロムアクア」の採水地である群馬県みなかみ町は、まちづくりの理念に基づき「自然環境への配慮」、「地域振興への寄与」、「環境教育への活用」等を基本理念とするエコツーリズムを推進しており、本プロジェクトの取組み趣旨と合致しました。
- よって、本プロジェクトとしては、みなかみ町のエコツーリズム推進の取組みを応援することを主たる取組みとします。
- 具体的取組みとしては、第1弾としては、9月末～10月初め頃地元の小学生を対象とした環境教育「谷川岳ーノ倉沢教室 ～森林の働きと水の関わり～」を実施し、次代を担う子供達に谷川連峰の水や緑に触れつつ、その素晴らしさや大切さについて学んでもらう取組みを応援します。
- また、第2弾の取組みとしては、将来的に環境教育を拡大したり、エコツアーを開催する際に必要となる専門の自然ガイド（インタープリター）の養成等の取組みを応援します。
- 取組みの詳細については、取組み実施後「フロムアクア」ウェブサイト等にてお知らせします。

3. 首都圏の駅構内等で自然あふれる谷川連峰の美しさを伝えます

首都圏の一部acure自販機や一部列車内の中吊り、トレインチャンネル等において、9月1日以降順次、本プロジェクトの概要や谷川連峰の自然の美しさを伝えます。

- **プロジェクト詳細は** 「フロムアクア」ウェブサイト <http://www.fromaqua.net/>

【参考】

1. 谷川連峰とは

- 清水峠から三国峠までを上越国境沿いに結び、雄大な山岳地帯です。
- 谷川岳は、群馬県と新潟県の県境に位置する日本百名山のひとつで、谷川連峰の核とも言えます。
- 谷川岳は北西の季節風の影響を強く受け、日本でも有数の豪雪地域です。
- この厳しくも豊かな自然に恵まれた谷川岳に降る雪や雨が、谷川岳の六層もの地層をくぐり抜け、清冽な天然水として湧き出し、「**フロムアクア～谷川連峰の天然水～**」となります。



2. 「フロムアクア～谷川連峰の天然水～」の変遷

- 1972年 上越新幹線大清水（だいしみず）トンネルの工事を開始。
- 1978年 大清水トンネルの工事中に、谷川岳の湧水を発見。
スタッフの間で「おいしい!」と評判に。
- 1983年 国鉄（当時）内に、「水プロジェクトチーム」が結成。
- 1984年 谷川岳の湧水を商品化した「～谷川岳の名水～大清水源水（おおしみずげんすい）」が発売。
- 2007年 「～谷川岳の名水～大清水源水（おおしみずげんすい）」がブランドチェンジを経て、「**フロムアクア～谷川連峰の天然水～**」が誕生。



フロムアクア 500ml



フロムアクア 280ml



首都圏のacure自販機に掲出